

第6回「科学する心」を見つけよう フォトコンテスト 入選発表

公益財団法人ソニー教育財団（会長：中鉢良治）は、「科学する心」を見つけようフォトコンテストの選考結果を本日発表いたしました。

第6回目となる本コンテストでは、保護者が撮影した「子どもたちの感動や探求の姿が伝わる写真」を募集し、全国より283件の応募がありました。審査委員会による厳正なる審査の結果、「科学する心賞」（2作品）、「いきいき賞」（9作品）、「きらり賞」（39作品）合計50作品が選ばれました。

入選作品は、当財団のホームページに掲載しております。また今年も全国の科学館やソニーグループの施設等と連携した写真展を開催する予定です。

【 入選作品 】

◆科学する心賞（2作品）※敬称略

ソニー製 HD デジタルビデオカメラまたはデジタル一眼レフカメラを贈呈



「二人ならできる！」

（静岡県・2歳11ヶ月、2歳11ヶ月）

応募者：ダブルバニー

応募者コメント：

大きなシャボン玉を作るため二人で考え、力を合わせてみることにした様子。二人ならきっと出来るよ。

審査委員コメント：

見ているこちらまで試してみたいくなるような写真です。ここに至るまで、二人で力を合わせて繰り返しシャボン玉を作っている様子が、真剣な表情に表れています。「二人ならきっと出来るよ」という、子どもの思いと親の願いが伝わってきます。一人ではなく二人で発見し、思いを一つにして作り出していく体験は「科学する心」の育ちにつながります。



「どうやって食べてるの？」

(岐阜県・5歳5ヶ月)

応募者：けいた

応募者コメント：

カブトムシやクワガタってどうやって食べるの？僕と同じくモグモグするの？

審査委員コメント：

興味をもった小さい生き物を、目的をもって観ている姿は能動的な関わりです。「どうやって食べてるの?」「僕と同じくモグモグするの?」と、口元に注目して夢中になっている姿に、この年齢なりに興味を深めていく関わりが伝わってきます。このように生き物に親しむことを大切にする中で、「科学する心」が育まれてきたことが感じられる作品です。

◆いきいき賞 (9 作品) ※順不同、敬称略

ソニー製 デジタルスチルカメラ又はデジタルフォトフレームを贈呈

「ぶかぶか」にしちゃん(兵庫県) / 「僕のおともだち」いっちゃん(岡山県) / 「木とおはなし中」ツバメ(東京都) / 「おそろいだね♪」swati(兵庫県) / 「おととと!」どんぐりこ(宮崎県) / 「回れ~コマ!」北島 たけし(愛知県) / 「今度は何色?」ソラマル(埼玉県) / 「地面、あったかいね」熊谷陽子(東京都) / 「観察」ぷう(広島県)

◆きらり賞 (39 作品) アルミ製フォトフレーム(ソニーロゴ入り)を贈呈

【 審査総評 】

今回で第6回目となる「『科学する心』を見つけようフォトコンテスト」では、子どもが生き物やものなど興味の対象に能動的に関わり、自然の不思議さやおもしろさを感じている姿の作品が印象的でした。そしてその一瞬を見逃さずに、シャッターを押した保護者のみなさんの「科学する心」を“見つける目の素晴らしさ”も感じられました。また、何気ない日常の中で、子どもに寄り添い見つめることで、この時にしか経験できない偶然の一瞬に気付いた保護者のみなさんの喜びが、コメントから伝わってきました。

これからもこの一瞬一瞬を親子で共有しながら、子どもたちの「科学する心」を大事に育てていって欲しいと願っております。

【 審査委員 】※敬称略

<審査委員長>	盛田 昌夫	(株) ソニー・ミュージックエンタテインメント代表取締役会長、 (株) ソニー・ピクチャーズエンタテインメント代表取締役
<審査委員>	町田 和子	社会福祉法人湘北福祉会 あゆのこ保育園 園長
	八木 義順	撮影家
	露木 和男	早稲田大学 教育・総合科学学術院教授
	西谷 清	公益財団法人 ソニー教育財団 理事長

ソニー教育財団の活動について

ソニー教育財団（会長：中鉢良治）の願いは、子どもたちが、自然から学び、他の人を思いやり、愛する心と豊かな感性を身につけ、そして、夢を持ち、未来を切り拓く人に育つことです。こうした願いを実現するために、科学を通して、好奇心や創造力を伸ばし、勇気をもって新しいことに挑戦していく子どもたちを育てることに情熱を持って取り組む人たちと学びの場を支援します。

1972年の設立当初より小・中学校を対象に教育助成（現：「ソニー子ども科学教育プログラム」）を行っています。2001年に幼児期の豊かな感性と創造性の育成を願い「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始し、2012年で10周年を迎えます。また、2,000名を超える全国の小・中学校の先生方の自主的な研究組織である「ソニー科学教育研究会（SSTA）」をはじめ、先生方の研究・研修活動を支援しています。さらに新たな活動として、2005年に小・中学生を対象にした「科学の泉—子ども夢教室」、2007年からは「ソニーものづくり教室」、ソニー科学教育研究会と海外の科学教育研究組織との交流の支援を始めました。2009年、ソニーの教育助成活動は50周年を迎えました。2011年、公益財団法人に移行しました。



＜本件に関するお問合せ＞ 公益財団法人 ソニー教育財団
TEL03-3442-1005 FAX 03-3442-1035 <http://www.sony-ef.or.jp/>
〒140-0001 東京都品川区北品川4-2-1